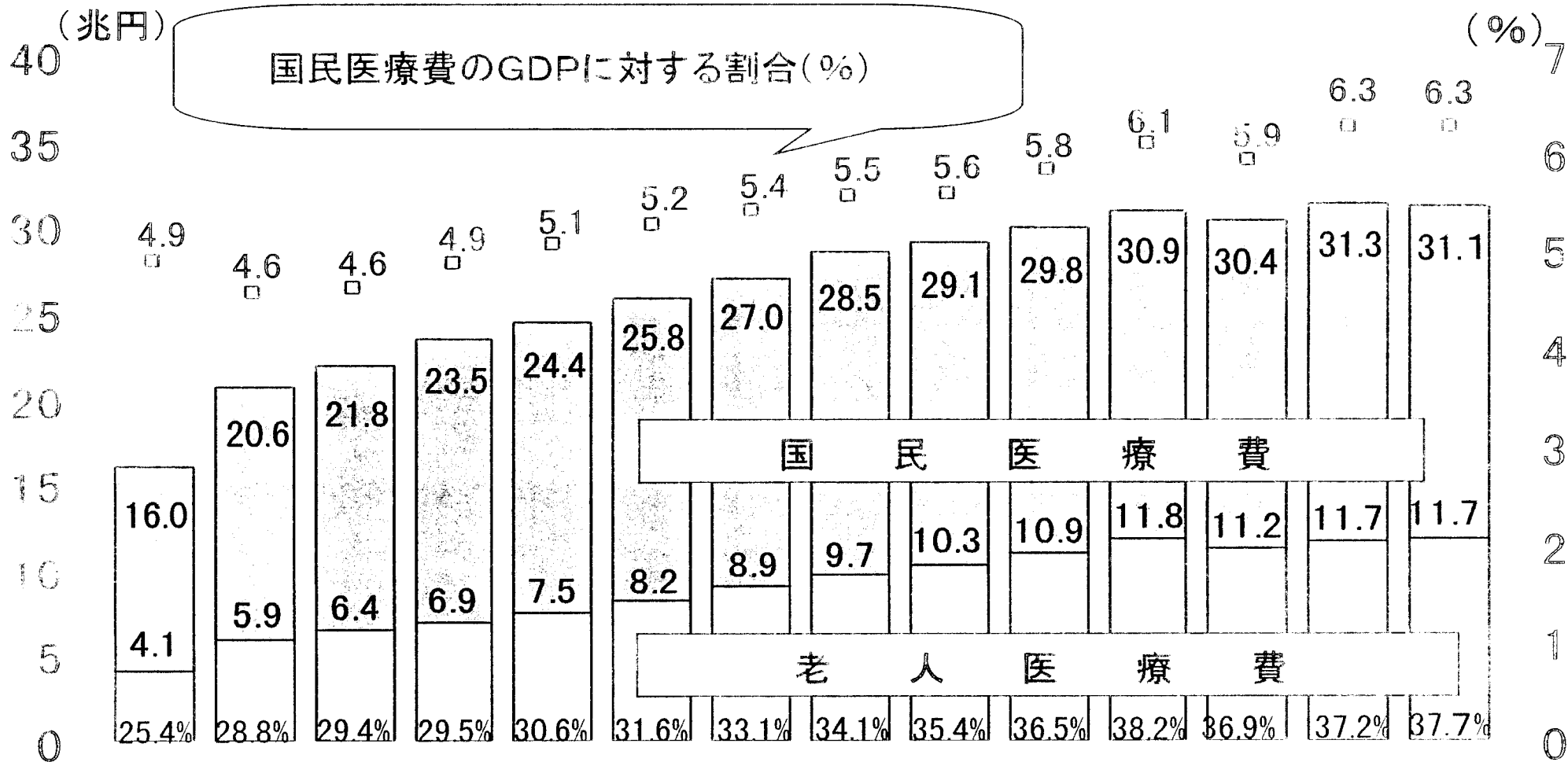


参考資料 (医療費適正化関係)

①医療費関係

医療費の動向



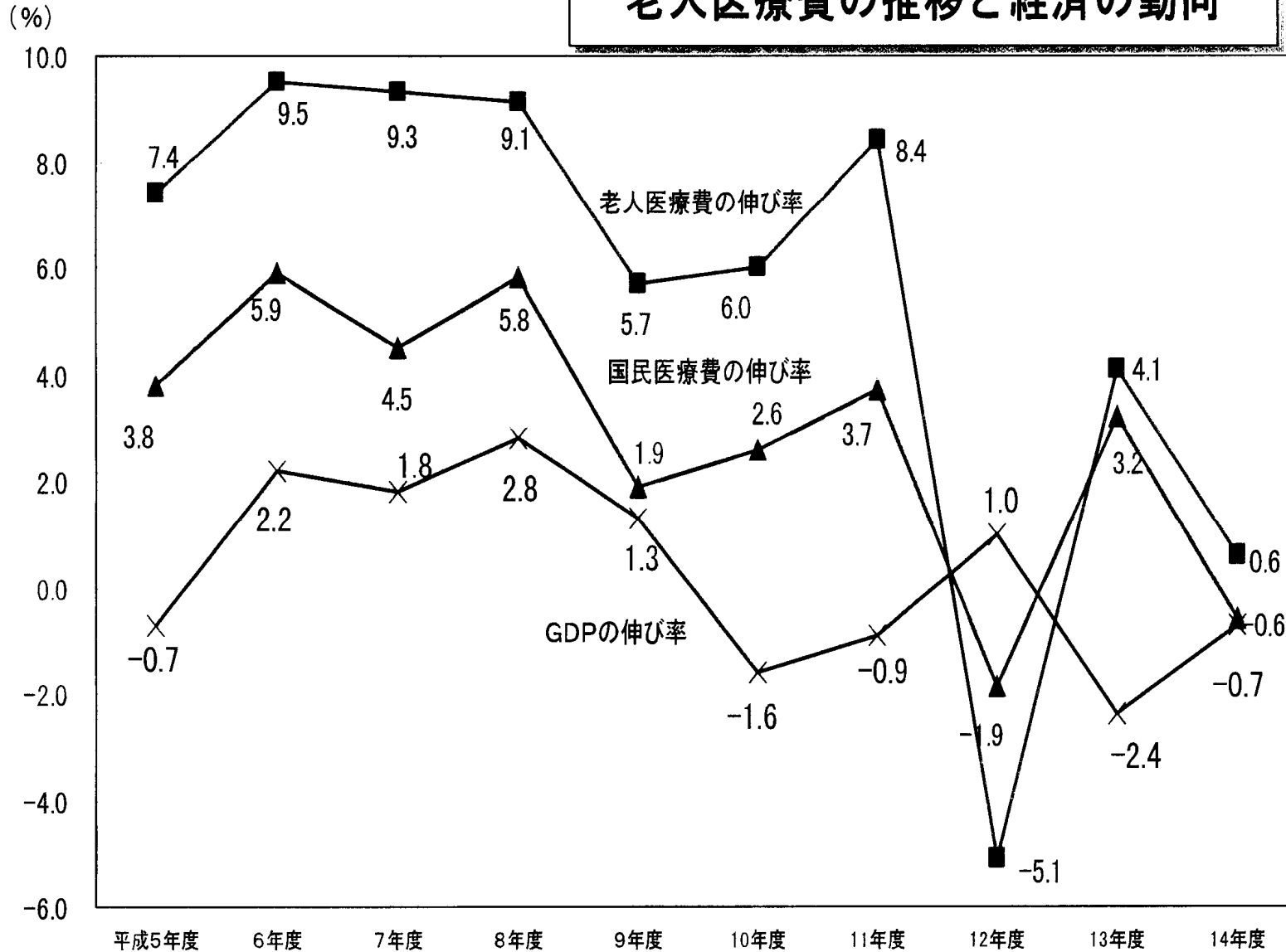
昭和60 平成2 平成3 平成4 平成5 平成6 平成7 平成8 平成9 平成10 平成11 平成12 平成13 平成14

注: 1) 2000年4月から介護保険制度が施行されたことに伴い、従来医療費の対象となっていた費用のうち、一部介護保険の費用に移行。

2) 出典: GDP・・・平成16年国民経済計算年報(内閣府)、国民医療費・・・平成14年度国民医療費の概況(厚生労働省)、

老人医療費・・・平成14年度老人医療事業年報(厚生労働省)

老人医療費の推移と経済の動向



過去10年間の年平均伸び率

国民医療費 (若人、老人を含む全体の医療費) 3.4%

老人医療費 6.6%

高齢者数 4.3%

GDP 0.4%

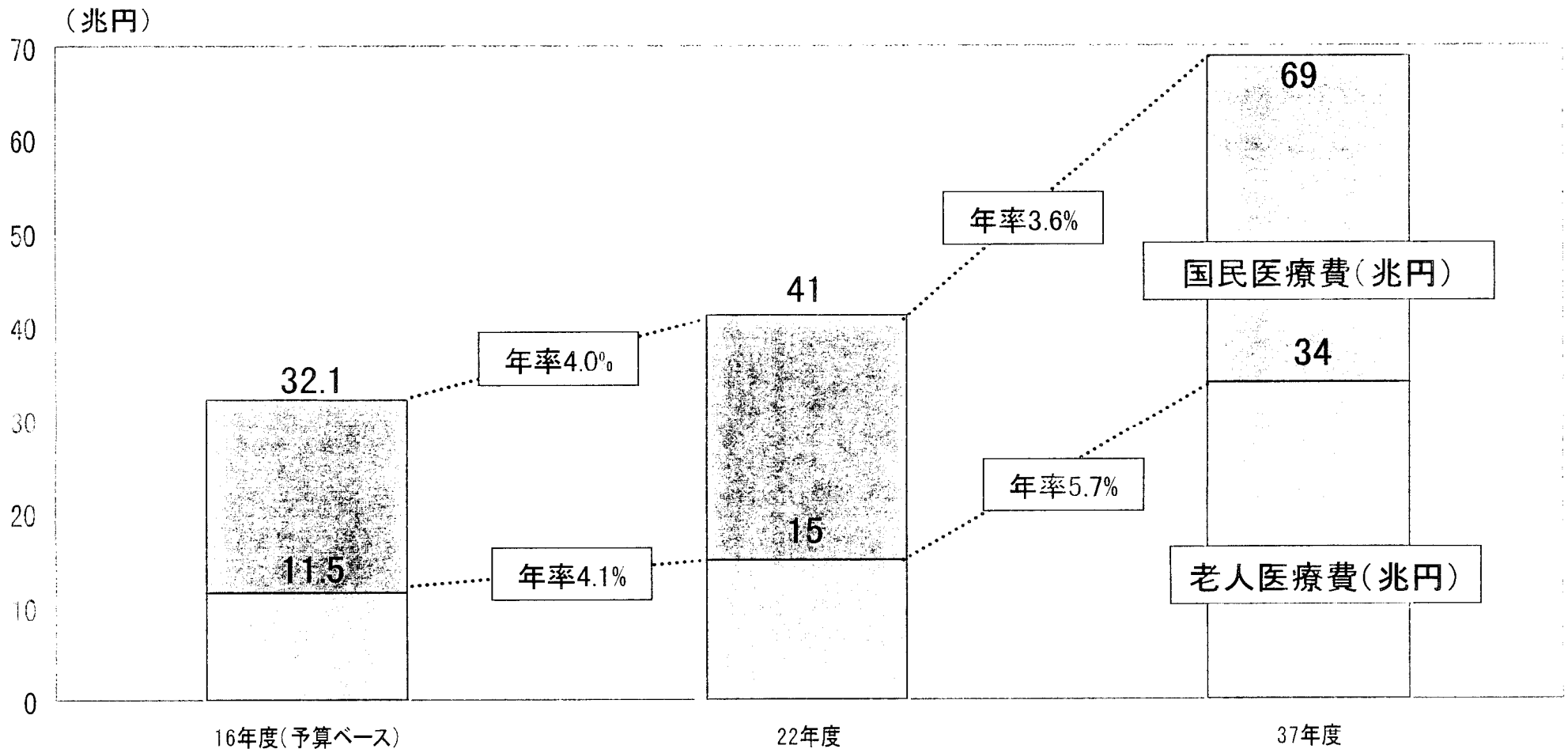
注1. 国民医療費と老人医療費については、12年度を除いた平均である。

注2. GDPの伸び率は、内閣府『国民経済計算』(平成15年12月発表)による。

※ 平成12年度の介護保険の創設により国民医療費の一部が介護保険に移行している。

※ 出典: GDP...平成16年度国民経済計算年報(内閣府)、国民医療費...平成14年度国民医療費の概況(厚生労働省) 老人医療費...平成14年度老人医療事業年報(厚生労働省)

国民医療費の見通し



注1: 老人医療は平成19年まで対象年齢の引き上げが行われていることに注意が必要。

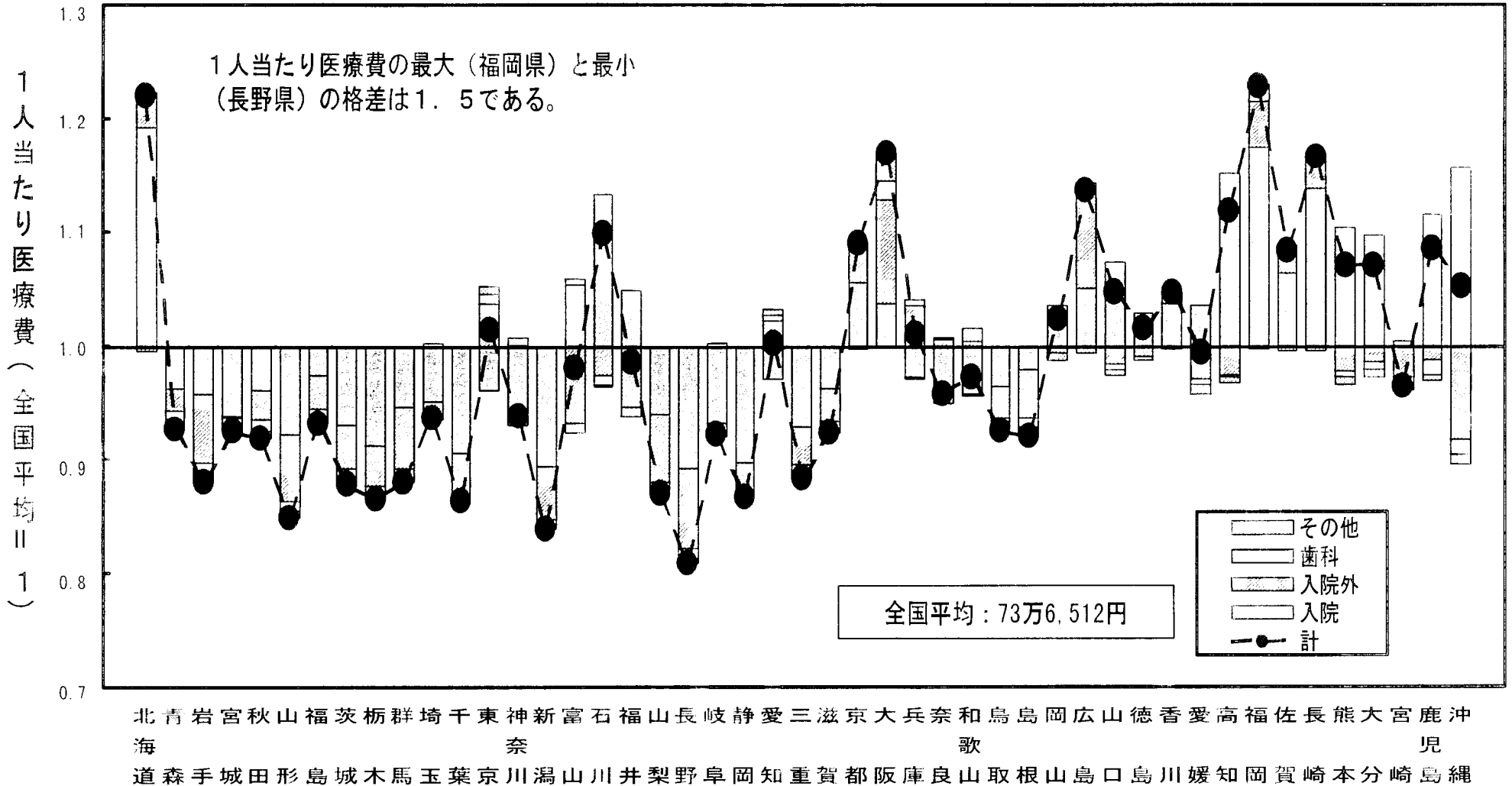
注2: 平成22年度及び37年度の推計値は「社会保障の給付と負担の見通し」(平成16年5月)に用いられた医療費であり、以下の前提をもとに厚生労働省保険局調査課が推計。

①将来の人口: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」の中位推計

②医療費の伸び: 1人当たり医療費の伸びの平成7~11年度の平均。ただし、加入者の年齢構成の変化による増減分(高齢化分)と制度改正による一時的な伸びの減少分を除いたもの(一般医療費2.1%、高齢者医療費3.2%)

③年齢階層別1人当たり医療費: 平成16年度予算の基礎数値より推計

老人：1人当たり医療費の地域格差（平成14年度）



注：1人当たり医療費は、全国平均（73万6,512円）で除して指数化したものを記載した。

資料出所：厚生労働省保険局「老人医療事業年報」（平成14年度）